

膝前外側支持組織の形態学研究

1. 研究の対象

学生解剖実習用献体（20体20膝）を対象（2024年4月1日から2026年3月31日までに本学にご提供された献体）

2. 研究期間

研究実施許可日～2026年3月31日まで

3. 研究目的・方法

目的：膝前外側支持組織（anterolateral ligament：以下、ALL）が膝関節の回旋制御に関わっていると知られており、膝前十字靭帯（anterior cruciate ligament：以下、ACL）損傷の一部にALL損傷が合併する。本来の解剖学的靭帯付着部に靭帯を再建する「解剖学的再建術」が、より治療成績を向上させ得ると考え、ALLの解剖学的検討を行い、その周囲の組織との位置関係を明らかにする。

方法：①臨床解剖用献体を用いて、ALLの解剖を行い、形態の観察を行う。

②7テスラMRIを用いて3Dイメージ構築して、ALL付着部の位置情報や長さなどを立体的に解析する。

本研究に関わる、個人情報および診療情報などのプライバシーに関する情報は、個人の人格尊重の理念のもと厳重に保護され慎重に取り扱い、プライバシー保護に努めます。

4. 研究に用いる対象・情報の種類

対象：臨床解剖実習用献体の膝関節 20 体 20 膝（外傷歴や手術歴がある場合を除く）

情報：献体の生前の情報（性別、年齢、病歴、身体所見等）

本研究で用いた献体は「白寿会」入会のしおりに基づき解剖終了後にお返し致します。取得した上記の情報は、研究終了後 5 年間適切に保管したのち、廃棄いたします。また、本試験で得られたデータについては、倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長の実施許可を得て承認された場合に限り、個人識別情報とはリンクしない形でデータを二次利用（メタアナリシスなど）することがあり得ます。

5. 研究費および利益相反

研究費は整形外科学講座講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて献体のご遺族の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岩手医科大学医学部 整形外科学講座 畑山 遼

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1

TEL : 019-613-7111 (内線 6562)

FAX : 019-907-6996

研究責任者 : 岩手医科大学医学部 整形外科学講座 丸山 盛貴

-----以上